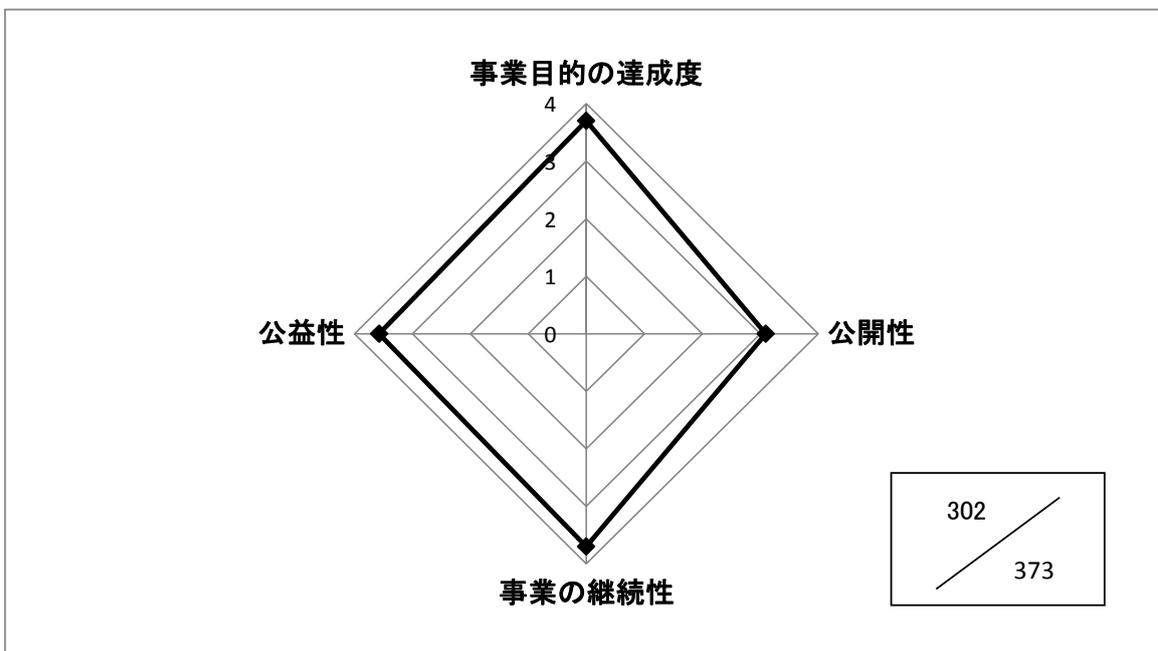


対外事業評価 スポーツチャレンジぎふ2012

(事業目的)

子どもたちには、練習時から仲間と掲げてきた目標達成に向け、諦めずに努力することの大切さを、仲間と一緒に全力で走りきることで体感してほしい。そして諦めない心は自分の可能性を広げることに気付いてほしい。また会場まで応援に来てくれた先生や保護者をはじめとする大人が一生懸命応援してくれる姿を見ることで、周囲から支えられていることを改めて知り、感謝の念を抱いてほしい。

大人には練習時から大会当日までの子どもたちの成長を見ることで、励まし、支え、見守ることの重要性を感じてほしい。そして練習時から確認してきた地域の取り組み以外に、様々な分野で活躍している人たちの活動を知ること、今後の関わりの参考にしてもらい、子どもに対して大人として何ができるかを考え行動していくきっかけとしてほしい。



質問1	事業目的の達成度	主催者の考える事業目的は達成されたと思いますか。
質問2	公益性	あなたにとって満足のいく事業でしたか。
質問3	公開性	事業内容や参加要件等の情報は、ホームページやポスターといった広報媒体で分かり易く得ることはできましたか。
質問4	事業の継続性	今回の事業は今後も継続した方が良くと思いましたか。

	事業目的の達成度	公益性	公開性	事業の継続性
評価点	3.70	3.58	3.10	3.70

質問	事業の中で気付いた点や改善した方が良い点を記述してください。
代表例	子どもと一緒にいっぱい汗を流すことが少なくなってきた今、この事業は大きな意味を持っていると思う。
	子どもたちが自分たちで考えて成長していく姿に驚きと喜びを感じました。皆様に感謝申し上げます。
	家にこもりゲームばかりの息子が友達を協力してやり遂げるという良い経験をさせていただきました。
	学年をこえて練習したことで上の子どもたちからたくさんのことを教わりました。
	バンドが中古と新品があり不公平に思った。
	開会式、閉会式ともに長すぎる。午前中で終わってほしい。
	上の子の時から6年間参加しています。やらないといていた下の子は結局参加して、6年生最後のよい思い出になりました。